

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	家族が困っていることや、施設に希望する事、意向などを具体的に介護計画書に反映する事が出来ていない。	家族が意見を言いやすいように職員との信頼関係を築き、介護計画書に反映していく。	来荘時など近況報告をより密に行ったり、さりげない会話を行ったり、家族との意見交換が行える交流会を開催する。	12ヶ月
2	25	認知症の方に対するケアが徹底できておらず、統一出来ていない。自立支援を含めて、不適切なケアとなってしまう事がある。	利用者一人ひとりのADLや、出来る、できない事、背景など状況を考え適切な認知症のケアを行っていく。	定期的に認知症ケア、人権、身体拘束などの内部研修の開催と、積極的な外部研修への参加を図っていく。	12ヶ月
3	51	月ごとの外出支援以外にも、利用者の希望に応じたバスハイクや買い物、散歩、なじみの場所への外出などの支援が充分に行えていない。	利用者の希望に応じた個別の外出支援を行っていく。	予定以外の外出支援ができるよう、その日の状況に応じて職員同士で話し合い、臨機応変に利用者の希望に対応していく。また、職員の方より希望を聞きだす姿勢を持つ。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。